

# 京都市交響楽団

2014 3/14 

午後7時開演  
(午後6時開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

## 第577回定期演奏会

The 577th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra  
Friday, March 14, 2014 / 7:00PM Kyoto Concert Hall

開演前(午後6時40分ごろから)は指揮者による「プレトーク」、  
終演後は「レセプション」でお楽しみください。

「プレトーク」はホール・ステージ上にて、  
「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。



### 京響=広上、入魂のマーラー「巨人」! &ロシアが生んだ鍵盤の貴公子ルガンスキーのラフマニノフ

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調op.18  
マーラー:交響曲第1番二長調「巨人」

*Rachmaninov: Concerto for piano and orchestra No.2 in C minor op.18*  
*Mahler: Symphony No.1 in D major "Titan"*

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者)  
Conductor: Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

入場料 **S** ¥4,500 **A** ¥4,000 **B** ¥3,500 **P** ¥2,000 (舞台後方席)

- ◆当日残席がある場合のみ発売: 学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000  
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。
- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円/2014年3月7日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。  
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ: 京都コンサートホール(075)711-3231・京都市交響楽団(075)711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)  
<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)
- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。
- ◎プレイガイド(電話予約)
  - ・京都コンサートホール(075)711-3231  
(ホームページからオンラインチケット購入もできます)
  - ・チケットぴあ(0570)02-9999 Pコード186-448
  - ・ローソンチケット(0570)000-407 Lコード59807

ピアノ: ニコライ・ルガンスキー  
Piano: Nikolai LUGANSKY  
©Marco Borggreve Naïve-Ambrosie

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 

協賛: **ローム株式会社** 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都



美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



# 京都市交響楽団 第577回定期演奏会

The 577th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

常任指揮者・広上淳一が満を持して定期に取り上げるマラー「巨人」で、  
京響=広上が着実に歩んできた6年間の集大成を！

偉大なロシアン・ピアノの伝統を継承する妥協なきピアニスト、ニコライ・ルガンスキーが、完璧なまでの  
技巧とダイナミックな表現で聴衆を陶醉させる、ロマンあふれる王道のラフマニノフにもご期待ください！



Photo : Greg Sailor

指揮 広上 淳一 (常任指揮者) Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor)

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィルハーモニー管、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。91～95年にはノールシヨピング交響楽団、98～2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、97～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、91～2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー響、ポルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィルハーモニック、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィルハーモニー管、サン・パウロ響等へ客演。06～08年には米国コロバス交響楽団音楽監督を務め、ヨーロッパ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともに Denon レーベルにはチャイコフスキーの録音を残し、その実力を内外に知らしめた。07年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、ハイドンとラフマニノフ、08年5月には小澤征爾の代役として急遽、水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムとともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも89、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。13年1月「第32回藤堂音楽賞」受賞。08年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者。14年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに就任する。



©Marco Borggreve Naive-Ambroisie

ピアノ ニコライ・ルガンスキー Piano : Nikolai LUGANSKY

既に一流アーティストに名を連ねているニコライ・ルガンスキーを、かつての師、タチアナ・ニコラーエワは、ロシアの偉大なピアニストの系譜を継承する「次なるピアニスト」と賞賛した。ラフマニノフの解釈には定評があり、チャイコフスキー国際コンクール(1994年)をはじめ、数々の国際コンクールで最高位を獲得している。2013/14年シーズンは、テミルカーノフ、ネゼ＝セガンらの指揮による、ロンドン響、チェコ・フィル、フィルハーモニア管、サンクトペテルブルク・フィル、ロッテルダム・フィルへの客演のほか、ベルリン・コンツェルトハウス、モスクワ音楽院大ホール、サンクトペテルブルク・フィルハーモニア管、シカゴ・シンフォニー・センター、シャンゼリゼ劇場、クイーン・エリザベス・ホールなどでリサイタルを行い、またミッシェル・マイスキー、ワディム・レーピン、アレクサンドル・クニャゼフらと室内楽を行っている。BBCプロムス、ラ・ロック・ダンテロン、ヴェルビエ、エディンバラなどの国際音楽祭にも再び登場している。2012/13年シーズンはボストン響へのデビューを始めとして、ニューヨーク・フィル、パリ管、バンベルク響、ロシア・ナショナル管、フィンランド放送響などへの客演で成功をおさめたほか、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ロンドン・ウィグモアホール、リスボン・グルヴェキアン財団ホール、マドリッド国立音楽ホールなどでリサイタルを行った。ルガンスキーは、現在ナイヴ・レーベルと専属契約を結んでおり、彼の最新盤であるラフマニノフのソナタ第1番、第2番は、2012年秋にディアパソン誌で金賞を受賞しているほか、2013年エコー・クラシック賞のソロ録音賞(20-21世紀音楽部門)を受賞するなど非常に高い評価を得た。このほかケント・ナガノ指揮ベルリン・ドイツ響とグリーグとプロコフィエフのピアノ協奏曲が今秋リリースされている。他のレーベルでも、ワーナーからリリースされたショパンの「エチュード」と「前奏曲」全曲集、さらにラフマニノフの「前奏曲」と「楽興の時」のCDがディアパソン金賞を受賞。また、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番と第3番の録音は、ドイツ・レコード批評家賞と2005年エコー・クラシック賞に輝いた。2010年にはショパン・アルバムが、2012年にはリスト・アルバムがOnyxレーベルからリリースされている。モスクワ音楽院でタチアナ・ケストナー、タチアナ・ニコラーエワ、セルゲイ・ドレンスキーに師事。2013年4月にはロシアの芸術家に与えられる栄誉称号である、ロシア人民芸術家を授与されている。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」「京都創設者文化賞2007」受賞。08年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。14年4月からは、広上淳一が常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに、また、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任する。録音では、広上淳一指揮「名曲ライブシリーズ」CD第1弾を10年11月、第2弾を12年2月に発売し、13年9月には第3弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回  
予告

2014年 1/24から発売！



©Naoya Yamaguchi



©François Séchet

## 第578回定期演奏会

下野竜也のシンフォニエッタ  
麗しき女流オーボイストとの華やかな協演

日時：2014年4月25日(金) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール

指揮：下野 竜也 (常任客演指揮者)

独奏：セリーヌ・モワネ (オーボエ)

曲目：ドヴォルザーク：序曲三部作「自然と人生と愛」

序曲「自然の王国」op.91 序曲「謝肉祭」op.92 序曲「オセロ」op.93

マルティヌー：オーボエ協奏曲

ヤナーチェク：シンフォニエッタ

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

次回  
予告

2014年 2/23から発売！



©K.Miura



## 第579回定期演奏会

広上淳一VS川本嘉子=イタリアのハロルド  
時を超えて出会うベルリオーズ&プーランク

日時：2014年5月24日(土) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：広上 淳一 (常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー)

独奏：川本 嘉子 (ヴァイオリン)

曲目：ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」op.9

プーランク：バレエ組曲「牝鹿(めじか)」

ベルリオーズ：交響曲「イタリアのハロルド」op.16

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)